

令和6年度 教育についての予算

教育予算の総額は 219 億 8,950 万円
で、文京区全体予算(一般会計予算)の
26%を占めています。

また、教育費以外に、民生費からも一部、
教育のためにお金が使われています。

【民生費から】

児童館・育成室等の経費

39 億 7,819 万円

児童発達支援センターの経費

4 億 4,370 万円

教育予算の内訳

219億8,950万円

職員給与等教育委員会
事務局運営の経費

10 億 3,349 万円

教育センター、図書館、
社会教育推進の経費

20 億 4,406 万円

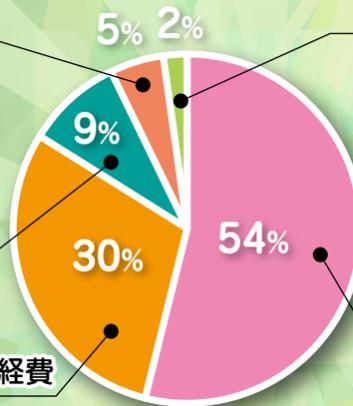
小中学校・幼稚園施設整備の経費

67 億 2,306 万円

その他

(校外学習、教育資金の助成の
経費など)

4 億 438 万円



小中学校・幼稚園の運営・
維持管理の経費
(教育情報ネットワーク等
設備装置の維持管理、
各種指導員配置、学校給食など)

117 億 8,451 万円

主な新規・充実事業

●文京区平和特派員事業(726万円)

子どもたちに、戦争の惨禍と世界平和の大切さへの理解を深めて
もらうため、区立中学校代表者を派遣し、沖縄戦の平和関連施設
訪問や、現地の中学生との交流学習等を行います。

●育成室待機児童解消加速化プラン (5 億 3,233 万円)

〈早期の待機児童解消〉

- 民間賃貸物件を活用した施設整備
待機児童が多く発生している地域を中心に、育成室が設置可
能な賃貸物件を整備します。
- 都型学童クラブ開設の誘致促進
区独自による運営費用補助を拡充し、施設の新規設置を促
します。

〈待機児童の家庭へのサポート〉

- 児童館機能の拡充
育成室の入室待機となった家庭を対象に、ランドセル来館事
業(下校時に直接児童館に来館)を実施します。
- 放課後全児童向け事業(アクティ)の拡充
18 時(1 校は 17 時 30 分)までとしている終了時間を、
18 時 30 分までに順次延長します。

●子どもの学び支援事業(6 億 1,191 万円)

- 多様な担い手で紡ぐ個が輝く教育
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実及び幼児・
児童・生徒の多様化への対応が求められていることから、一人
ひとりのよさや可能性を引き出す教育を行うため、区立小・中学
校、幼稚園において、ICTや日本語、特別な配慮などの各種指導
員等の人的配置を充実させます。
- スクールソーシャルワーカーの全校配置
区立小・中学校に在籍する児童・生徒について、児童等を取り巻く
環境に応じて、福祉の窓口につなぐなどの福祉的な支援ができる
よう、スクールソーシャルワーカーを全校配置するための体制を
構築します。
- 校内居場所(別室)対応指導員配置の拡充
区立小・中学校内の別室において、学級に馴染めない児童・生
徒の対応をする校内居場所(別室)対応指導員の配置を、10 校
から2校増やし、12 校に拡充します。

●各小学校の改築工事等(26 億 6,674 万円)

誠之小、明化小、柳町小の改築工事のほか、小日向台町小、千
駄木小では改築に向けた設計等を進めます。
その他の小学校についても、児童数の増加等に対応するため、教
室の増設工事を行います。

1 特集

令和6年度教育についての予算

2 部活動の地域連携・地域移行の推進
オンラインによる国際交流授業
文京区立図書館 ご存知ですか?
図書館の電子書籍 いつでもどこでも
気軽に児童書を読むことができます♪
東京大学総合研究博物館
スクール・モバイルミュージアム
「動物観」展を教育センターで開催します

3 令和6年度区立中学校
オープンキャンパス開催
b-lab 事業紹介
コラム 健康・体力アップ!
ヒント 第4弾

4 きあら推しスポット
学校給食おすすめレシピ
「タンドリーチキン」
文京文化財探訪
●文京区指定有形文化財に追加指定しました
●「宮園節三味線」が国の重要無形文化財に指定
されました
編集後記

部活動の地域連携・地域移行の推進

国は、休日の学校部活動を段階的に地域移行していくことを目指しており、令和5年度から令和7年度を「改革推進期間」と位置付けております。

文京区ではこれまで地域連携の一助として、「部活動指導員」や「部活動指導補助員」の拡充を図ってまいりました。

また、第三中と音羽中のサッカー部においては、地域スポーツクラブと連携した地域部活動としてのモデル事業を展開しております。

さらに、令和5年度に教員・児童・生徒・保護者を対象としたアンケートを実施しました。結果を踏まえ、令和6年度以降は、有識者や保護者の代表も加わっていただき、地域連携・地域移行に関する検討会議を重ねていく予定です。文京区としての持続可能なスポーツ・文化活動が行える環境の整備に取り組んでまいります。検討会議の内容につきましては、今後、区ホームページにも掲載していきますのでご覧ください。

●部活動指導員

部活動における専門性を有した技術指導を行うことができ、部活動運営や大会等の引率や指導を単独で行うことができる

●部活動指導補助員

部活動における技術指導の補助や部活動運営の補助などを行うことができる

教育指導課 ☎03(5803)1300

オンラインによる国際交流授業

文京区では、区内小中学校の児童・生徒に、タブレット端末を貸与しています。タブレット端末を活用することで、時間的・距離的制約を緩和し、以前は難しかった授業や学習の実現が可能になりました。

第九中学校の3年生は10月に、メンフィス大学(アメリカ テネシー州)外国語学部日本語プログラムの学生やホームスクールの高校生たちとオンラインによる国際交流を行いました。

学習したことを生かして、学校の様子や日本の文化について英語で紹介しました。作成した資料や原稿を基に一方的に話すだけでなく、相手の話を聞いたり質問を受けたりすることもでき、「外国語で話すことが楽しい」「今よりも上手に話したい」と感じた生徒も多かったです。



生徒の感想より

今までは英語を話すときに間違えたらどうしようと不安に思ってしまう、自信をもって、積極的に話すことがなかなかできませんでした。しかし、今回の交流で、間違えても一生懸命日本語で話しているメンフィス大学の方々を見て勇気もらい、とにかく間違えてもいいからたくさん話すことが大事だと学びました。そして、英語をもっと話したい!と自然と思えました。グローバル化が進んでいて日本にも多くの外国人が訪れている中、機械に頼らずに実際に海外の人とコミュニケーションがとれることは大切だとわかりました。(一部)

学校で習ったことで外国の人と話すことができたので、もっと学校での英語の勉強を頑張りたいと思いました。最近仕事などで今よりも外国語が必要な場面が増えてきて、僕たちが大人になるころには日本国内でも外国語を使う場面が非常に多くなっていると思うので、その時に困らないように、外国語を読んだり書いたりして学ぶのではなく、直接会話をして話す力を重点的に身に付けたいと思いました。(一部)

教育指導課 ☎03(5803)1300



区立図書館

ご存知ですか?

図書館の電子書籍 いつでもどこでも気軽に児童書を読むことができます♪



区立図書館では、子どもたちがより豊かな日々を過ごせるよう、本と出会い、読書の楽しさを知ってほしいと願っています。成長につれ、十分に読書に親しむ時間が取れない状況もあるなか、新たな読書の方法として、電子書籍サービスを提供しています。

図書館の電子書籍は、スマートフォンやタブレット、パソコンなどからインターネットに接続して本を読むことができます。

児童向けの電子書籍は、約900点登録されています。「学校では教えてくれない大切なこと」や「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」、「探偵チームKZ事件ノート」、「子供の科学」などの人気シリーズや、英語学習に役立つ「Collins」シリーズなどがあります。

本の種類は、順次増やしていきますので、ぜひご利用ください。

図書館を使った調べる学習コンクール

全国コンクールで文部科学大臣賞を受賞!

小学生の部(低学年)で柳町小学校の笠原歌桜さんの作品「いもうとにえほんをつくりたい!あかちゃんにえほんのひみつ」が文部科学大臣賞を受賞しました。

いつでも読める!「世界」文学館」シリーズの登場

このシリーズは、貸出期間がなく、いつでも読みたいときに読むことができます。何度でも読みたくなる名作93点が揃っています。



オズの魔法使い



シャーロック・ホームズ作品集



アーサー王物語

◆利用できる方

区内在住・在勤・在学で文京区立図書館利用カードをお持ちの方。

パスワードを登録している	図書館利用カードの番号とパスワードで利用できます。利用者IDは図書館利用カードの番号で、パスワードは図書館と共通になります。
パスワードを登録していない	図書館ホームページからパスワードを登録してください。

真砂中央図書館 ☎03(3815)6801

*文京区立図書館利用カードをお持ちでない方は、ご本人が来館のうえ、区内の図書館カウンターで利用者登録をお願いします。住所を確認できる証明書類(保険証・運転免許証・学生証等)をお持ちください。

東京大学総合研究博物館 スクール・モバイルミュージアム 「動物観」展を 教育センターで 開催します



Information開催情報

会期 5月10日(金)から9月30日(月)まで(日曜、祝日を除く。)9:00~17:00
 会場 教育センター2階大学連携事業室
 展示制作 アメッド・ポブラ・花、中川 梨花、工藤 光平
 展示監督 遠藤 秀紀
 対象 どなたでも
 費用 無料
 申込 不要 直接会場へ
 お問合せ 〒113-0034文京区湯島4-7-10 教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

*車でのご来場はご遠慮ください。

講演会「人と動物の間柄を考える」も開催

- 5月18日(土)「『食べる』と『拝む』の間に」
遠藤 秀紀(東京大学総合研究博物館教授)
- 6月22日(土)「鶏を取り巻く人間模様」
工藤 光平(東京大学総合研究博物館特任研究員)
- 7月27日(土)「人と動物、その現在・過去・未来」
遠藤 秀紀(東京大学総合研究博物館教授)
- 8月17日(土)「鷹と鶏の距離:手の掛け方と愛で方の違い」
工藤 光平(東京大学総合研究博物館特任研究員)
- 詳細は、教育センターホームページでご確認ください。



教育センター学校支援係
☎03(5800)2591

令和6年度区立中学校 オープンキャンパスを開催します

区内の小学生と保護者の皆さんに、各区立中学校の魅力・特徴を知っていただくためのオープンキャンパスを開催します。学校選択の際の参考として、この機会にぜひお越しください。

第三中学校、茗台中学校、本郷台中学校は9月にオープンキャンパスを行います。また、10月、11月は区立中学校全校でオープンキャンパスを行います。

詳しい内容は次号をご確認ください。

学校名	日程	内容
第一中学校 ☎3811-7271	7/6 (土)	授業公開 (8:40～10:30) 薬物乱用防止教室 (9:40～10:30)
第六中学校 ☎3814-6666	7/6 (土)	授業公開 (8:45～11:35)
第八中学校 ☎3821-7128	7/6 (土)	授業公開 (8:45～11:00) 部活動体験 (前半 11:30～12:30) ◎要予約 後半 13:00～14:00) ◎要予約 ※部活動体験は開始5分前集合
第九中学校 ☎3821-7178	7/6 (土)	授業公開 (8:40～11:30)
第十中学校 ☎3944-0371	7/6 (土)	授業公開 (8:35～11:25) 学校説明会 (10:40～11:20) 授業体験 (9:40～10:25) ※9:30集合 ◎要予約
文林中学校 ☎3827-7671	7/6 (土)	授業公開 (8:35～10:25) 部活動体験 (11:00～12:00) ◎要予約
音羽中学校 ☎3947-2771	7/6 (土)	授業公開 (時間未定) セーフティ教室

●開催場所 各区立中学校

※上表に(◎要予約)と記載されているものは、事前に各校へお問合せ・予約が必要です。
※内容は中止又は変更になることがあります。

学務課学事係
☎03(5803)1295

ピーラボ b-lab 事業紹介

Information 施設情報

名称 ピーラボ b-lab (文京区青少年プラザ)
住所 湯島4-7-10
開館時間 午前9時～午後9時
(ただし、中学生の利用は午後8時まで)
電話 03(5800)2731

中高生の秘密基地をコンセプトに誕生したb-labが、今年で10周年となりました。b-labでは、区内在住・在学・在勤の中高生世代を対象に、文化・スポーツ分野を中心とした様々なイベントを実施しています。今回は、定例イベントについてご紹介します。

自習応援！マナビ場

中高生が集まり、皆で自習に取り組むイベントです。分からない問題は教え合ったり、大学生スタッフに聞いたりすることができます。このイベントは、大塚地域活動センターでも週2回実施しています。

ピーススポーツ b-sports

体を動かしながら交流を図るイベントです。ドッチビーや卓球、ポッチャなど、誰もが参加しやすい種目を実施しています。

ブッククラブ BookClub

読書を通じてお喋りするイベントです。本や漫画の内容・世界観について、皆で語り合います。

b-lab 食堂

中高生・スタッフが集まり、皆で一緒にご飯を食べながらお喋りするイベントです。

各イベントの詳細については、b-labのホームページをご覧ください。中高生の皆さんの来館をお待ちしております。



ピーラボ
b-lab(文京区青少年プラザ) ☎03(5800)2731
児童青少年課青少年係 ☎03(5803)1186

コラム

健康・体力アップ！ のヒント 第4弾

教育センターでは、順天堂大学スポーツ健康科学部の協力のもと、「子どもの健康・体力づくり」に関する取組みを行っています。前号に引き続き、「子どもの健康・体力づくり」をテーマにしたコラムを掲載し、子どもたちの健康・体力アップのヒントを紹介します。

運動・スポーツとの多様な関わりの増大に 体育授業がもつ意義

順天堂大学スポーツ健康科学部
先任准教授 渡 正

2016(平成29)年に改訂された中学校学習指導要領では、中学校保健体育における体育理論の分野に、スポーツとの「する」「みる」「支える」関わり方に加えて「知る」ことが追加されました。しかし、こうしたスポーツとの関わり方の多様性は、体育の授業においてはまだまだ不足している面があります。学校体育の意義を高めるためにも、多様な関わり方にとどのように取り組んでいくかを考えていく必要があります。様々な調査からは、小学生より中学生の方が、また男性より女性のほうが、体育やスポーツを好きと答える人が減り、嫌いと答える人が増えることが分かっています(図1)。スポーツ社会学者の井谷恵子氏は、体育嫌いな人たちに

とっては、体育の授業が「パフォーマンスが明確に可視化され、それらに優劣の評価がなされ(中略)身体やパフォーマンスがさらされることへのストレスが強まる空間」になっていると言います。これまでの学校体育での「する」は、各種目の技能を向上させることとしてのみ、児童・生徒が経験していた可能性があります。しかし、成人の多くは、技能・パフォーマンスの向上だけでなく、自身の健康のためのスポーツや身体のケアとなるようなエクササイズに取り組む、また自らの楽しみのためにスポーツを行っています。したがって、体育の授業も、スポーツを「する」ことの多様さを学ぶ場所としてより意識されていくことが重要です。

別の点を考えてみましょう。現在、テレビ中継だけでなく、SNSやインターネット中継など様々な場所からスポーツを「みる」ことができるようになってきました。スポーツの「みる」場所や、その見方の多様さを学ぶ必要があると言えます。このことは、新たに追加された「知る」こととも関連します。以前、FIFA女子ワールドカップ2023に合わせて放映されたあるCMが話題となりました。CMが浮かび上がったのは、多くの人々が女性のスポーツパフォーマンスにある種の偏見を持っているということでした。私たちはスポーツを「する」ことだけでなく、スポーツを「みる」ことにおいても、偏った捉え方をしていることがあります。だからこそ、学習指導要領が目指すように「知る」ことが重要なのです。

東京2020大会招致をきっかけに、パラスポーツへの注目が集まりました。パラスポーツは、道具などの補装具やルールの変更による合理的配慮やクラス分けとよばれる(アダプテッドの)方法を使って、スポーツを「する」ことから排除されてきた障害のある人々をスポーツにインクルージョン(包摂)してきた実践です。なぜ、障害のある人などは、これまでスポーツに参加しにくい面が見受けられたのでしょうか。そして、どうすればスポーツに多様な人々がより参加しやすくなるのでしょうか。パラリンピックをきっかけに小中学校では、パラリンピック教育の理念のもと、パラリンピック種目や障害の理解について学ぶ機会をもつ学校が増えてきました。パラスポーツが体育授業で扱われることで、児童・生徒の状況に合わせて、スポーツのルールや道具を工夫していく方法を「知る」ことができます。また、これまで抱きがちだった、「立位で、晴眼で、健聴な状態」でスポーツは行われるという思い込みを「知る」ことで、スポーツの価値を広げるよい機会となっているはず(図2)。

重要なのは、スポーツの「する」「みる」「支える」「知る」という関わり方の多様性だけではありません。私たち一人ひとりのスポーツとの関わり方もまた、多様な在り方が存在するという事を想像することが、私たちの豊かなスポーツライフやスポーツ文化に繋がっていくはず。そのために学校体育の授業は、より一層スポーツの価値の広がりを学ぶ機会が提供される場となっていくことが求められています。

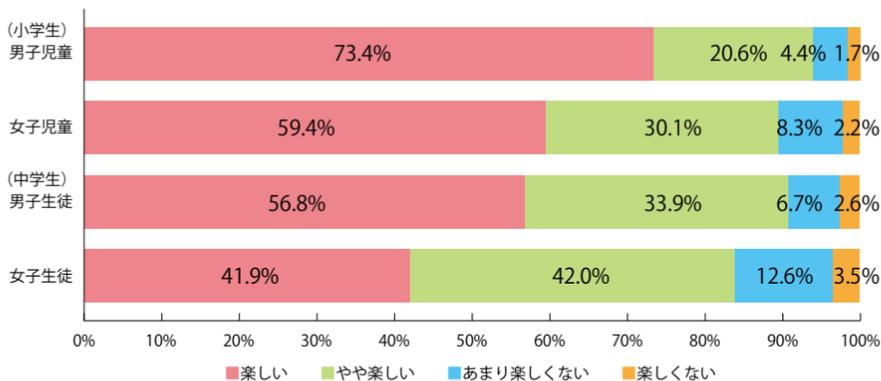


図1 スポーツ庁令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より筆者作成

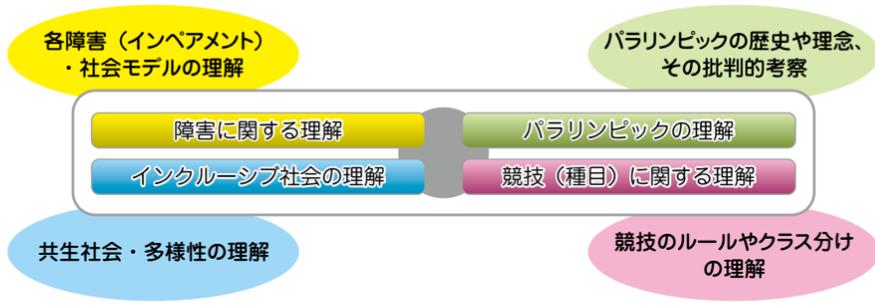


図2 パラリンピック教育の構成要素

教育センター学校支援係 ☎03(5800)2591

きあら 押しスポット

区立幼稚園や小・中学校自慢の“押し”スポットをご紹介します。



子どもたちを見守る「けやきの森」

指ヶ谷小学校

本校には、校庭で元気よく遊ぶ子どもたちを優しく見守る「けやきの森」があります。緑溢れて生き物が集い、紅葉豊かに枯れ葉舞う。「けやきの森」は四季折々さまざまな表情を子どもたちに見せてくれます。



緑多い校庭とグリーンの体育館

第三中学校

三中の押しスポットといえば区内で一番広い校庭と緑豊かなところ。令和3年度から4年間かけての内外装改修工事が進められています。昨年は体育館の改修工事が行われ、三中のスクールカラーである淡い緑の外装になりました。



知と想像の森

柳町幼稚園

園舎2階の中心に絵本スペースがあります。3～5歳児の保育室からぐるりと回って行けるようになっており、小上がりの床はコルクで温かなぬくもりを感じます。食後にゆったり過ごしたい子、気持ちを落ち着かせたい子、友達と一緒に図鑑を広げて興味関心を深める子など様々な楽しみ方をしています。



シンボルツリー「たいさん木」

林町小学校

学校のシンボルツリー「たいさん木」を見上げた1枚です。このたいさん木は、大正4年の大正博覧会の時に、上野の会場から持ってきて植えられました。以来、100年を超える間、子どもたちの健やかな成長を見守っています。

学校給食おすすめレシピ



タンダリーチキン

鶏肉を調味料に漬けて焼くだけの簡単な料理です。カレー風味の味付けでご飯にもパンにも合う、子どもたちに人気の給食メニューです。

★材料（2人分）

鶏もも肉	1枚分	250g程度
おろしにんにく	小さじ1	／2
塩	小さじ1	／4
ヨーグルト	大さじ2	
カレー粉	小さじ1	
トマトケチャップ	大さじ3	
しょうゆ	大さじ1	／2

★作り方

- ①おろしにんにく～しょうゆまでの調味料を混ぜ合わせる。
- ②鶏肉を食べやすい大きさに切り、①に20分程度漬け込む。
- ③クッキングシートの上に並べ、オーブンで180℃20分程度焼く。フライパンで焼く場合は、分量外の油をしいて、皮の方から焦げないように注意して中火で焼く。裏返したら蓋をして火が通るまで蒸し焼きにする。

学務課給食担当 ☎03(5803)1299



文京区指定有形文化財に追加指定しました

令和6年3月1日、区指定有形文化財(古文書)「護国寺日記」253冊に、新たに発見された2冊を追加指定しました。また、同じく区指定有形文化財(古文書)「麟祥院文書」1,229点に、新たに3,113点を追加指定しました。これにより「護国寺日記」は255冊、「麟祥院文書」は4,342点となります。

「護国寺日記」は、大塚五丁目に所在する護国寺に伝来した江戸時代の日記です。また、「麟祥院文書」は、湯島四丁目に所在する麟祥院に伝来する江戸時代から昭和時代の古文書群です。いずれも文京区の歴史を知るうえで大変貴重な文化財です。



護国寺日記 元文2年(1737)2月1日・2日条



麟祥院文書「麟祥院殿御法事旧記書抜」(江戸時代)

「宮園節三味線」が国の重要無形文化財に指定されました

文化財保護法の規定により、令和5年10月18日付で「宮園節三味線」が国の重要無形文化財に指定され、文京区在住の山田和代さん(芸名 宮園千佳寿弥)が重要無形文化財の保持者として認定されました。*

宮園節は、浄瑠璃(語り)と三味線によって構成される日本の伝統音楽の一つで、18世紀に京で始まり、歌舞伎の伴奏音楽などとして演奏されました。宮園節三味線は、渋い沈んだ音色によって語りを支え、繊細で優れた演奏技法により、宮園節を構成しています。

山田さんは幼少期より小唄や清元節を学び、こうした邦楽の素養をもとに、昭和48年、宮園千佳寿弥に入門して宮園節の修業を始め、同51年に宮園千佳寿弥の芸名を許されました。柔らかく深い音色と卓越した技量により、伝統的な宮園節三味線の演奏技法を高度に体現する演奏家として活躍されており、後進の指導・育成にも尽力されています。

*「宮園節三味線」は平成10年6月に重要無形文化財に指定されましたが、平成14年5月、保持者逝去により指定が解除され、今回改めて文化財指定・保持者認定がなされました。



教育総務課文化財保護係 ☎03(5803)1305

編集後記

春の新生活、いかがおすごでしょうか。新しい環境で緊張感のある日々をお過ごしの方、新年度で忙しい日々をお過ごしの方も多いのではないのでしょうか。今号では、おすすめ給食レシピや健康・体力増進

事業についても紹介しています。子どもたち、そして子どもたちを見守る皆さんの健康のために、ぜひご一読ください。今年度も文京区の教育について鋭意発信に努めていきます！次号もお楽しみに！